

株主メモ

決算期	12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金支払株主確定日	12月31日
中間配当金支払株主確定日	6月30日
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 当社ホームページ (http://www.jti.co.jp/) に掲載 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 ■事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ■お問い合わせ先 郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00～17:00) ■特別口座に関する手続き用紙のご請求 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関(☎0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない／配当金領収証の紛失等のトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡（買増）請求
- 郵便物の発送／返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎0120-232-711 (平日9:00～17:00)

手続き用紙のご請求先

- 音声自動応答電話によるご請求
☎0120-244-479 (24時間)

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
TEL 03-3582-3111 <http://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながる
FSC® 認証紙を使用するとともに、
植物油インキを使用しています。



株主・投資家の皆さまへ

業績報告書



2014年度第4四半期累計実績



JT NEWS



JTグループ商品のご紹介



2014年海外たばこ事業実績



JT TOPICS



旅路の先で出会う温故知新



ひとの
ときを、
想う。

vol. 48

二桁の利益成長 —為替一定ベース調整後営業利益—

代表取締役社長

小泉 光臣

2014年度実績

今年度は、海外たばこ事業における単価上昇効果および為替影響により、売上収益および調整後営業利益は堅調な実績となりました。全社の利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は対前年10.6%の成長と、中長期の目標である「mid to high single digitの成長」を達成しました。

海外たばこ事業では、主要市場であるロシアや欧州での総需要の減少などの厳しい事業環境の中、単価上昇効果や適切なコスト管理により為替一定ベースで対前年

13.1%と二桁成長を達成しました。シェアについても英国やスペイン、トルコなど複数の主要市場で増加しました。

国内たばこ事業では、消費税増税による総需要の減少に加え、競合他社との競争環境が厳しさを増す中、お客様へのリテンション施策などの販売促進を強化したことにより、シェアは底堅く推移しております。特にMEVIUS(メビウス)は「メビウス・プレミアムメンソール・オプション」を中心に堅調な実績となっており、これまでのブランド投資に支えられたエクイティの強さを示す結果となりました。

飲料事業においては、2月4日に、JT飲料製品の製

造販売事業から撤退することを発表いたしました。JT飲料事業部およびジェイティ飲料株式会社で行っているJT飲料製品の製造・販売を、2015年9月末を目途に終了することを予定しております。

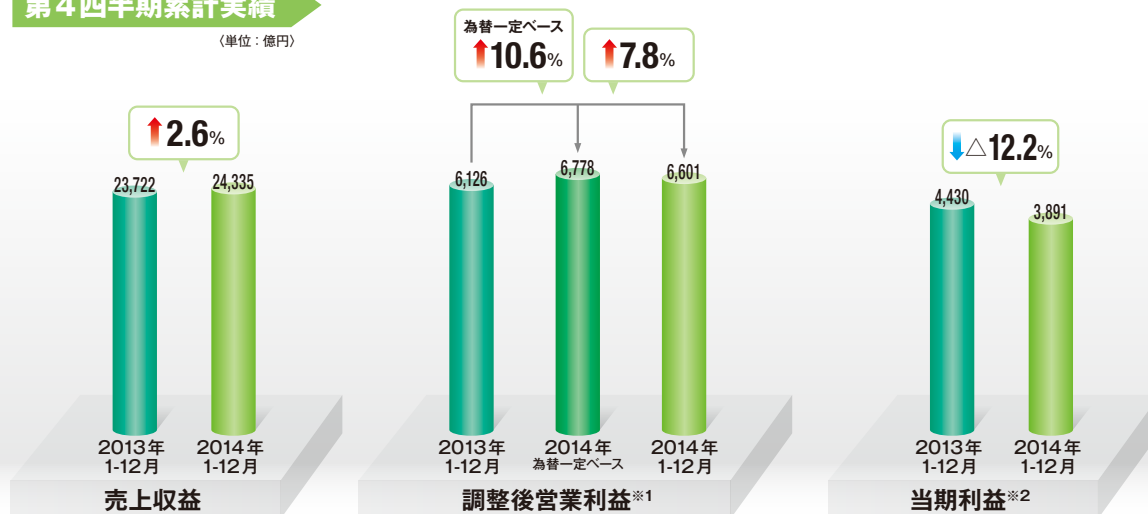
株主の皆様におかれましては、事業開始以来、長きにわたり当社飲料製品にご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今後も厳しい事業環境が継続していくものと考えておりますが、「4Sモデル」という不変の経営理念のもと、将来起こるであろう様々な変化への対応力を高めていくと同時に、中長期に亘る利益成長と、競争力のある還元を追求してまいります。

2014年度

第4四半期累計実績

(単位：億円)



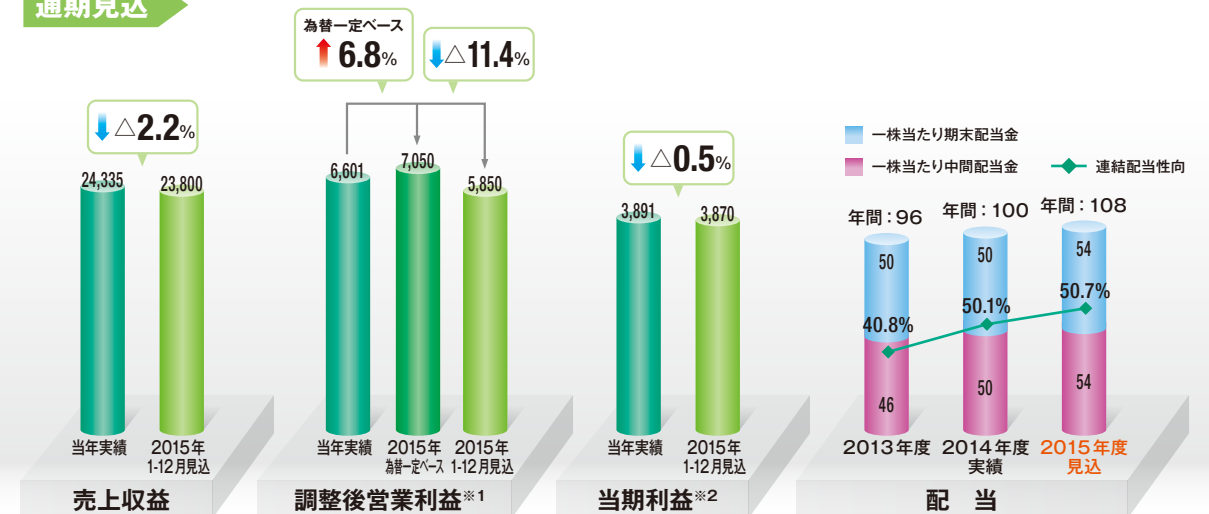
※1 調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目(収益及び費用)＊

＊調整項目(収益及び費用)＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等

※2 親会社所有者に帰属

2015年度

通期見込



(単位：円)

※2014年実績について

・2014年度は、国内4-12月(9か月)、海外1-12月(12か月)の変則決算

・比較可能性の観点から、当社グループの会計期間を2014年1月から2014年12月までの12か月間と仮定して全社実績を提示

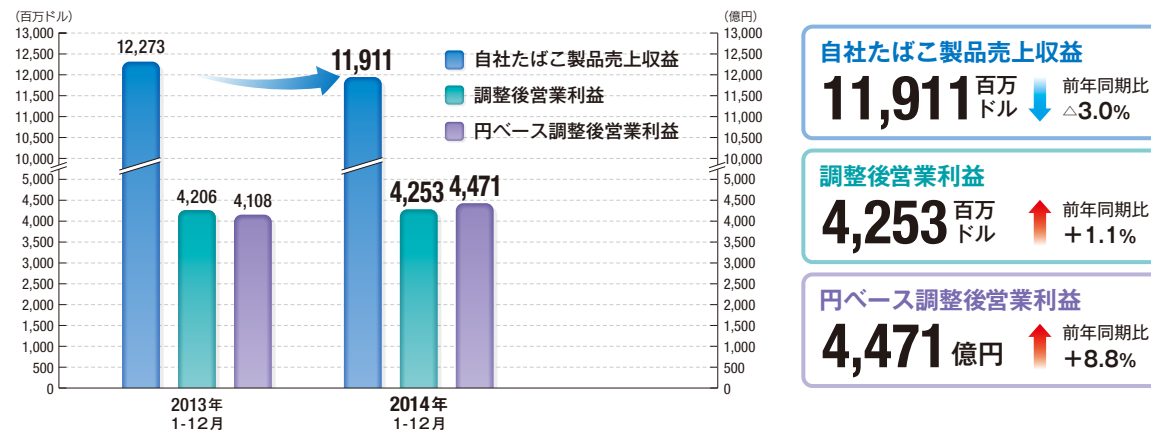
・2013年度も同様に2013年1月から2014年12月までの12か月と仮定して提示

海外 たばこ事業

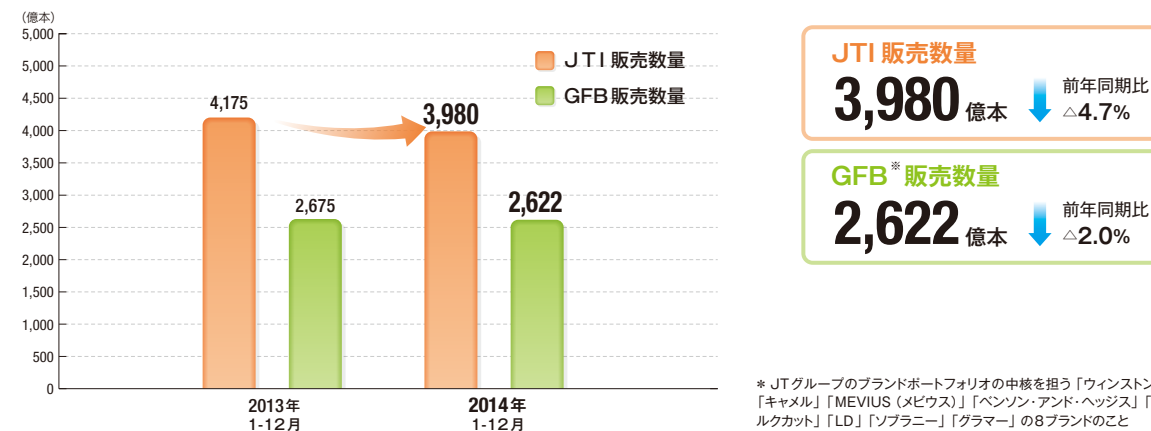
単価上昇効果により堅調な実績

ロシアおよび欧州を中心とした総需要減等の影響により販売数量は4.7%の減少となりましたが、販売数量減少の影響をロシア、UK等での単価上昇効果が上回り、為替一定ベースの自社たばこ製品売上収益および調整後営業利益はそれぞれ3.5%、13.1%の成長となりました。邦貨換算時に円安影響を受けた結果、円ベースの自社たばこ製品売上収益は4.8%増、調整後営業利益は8.8%増となりました。

海外たばこ事業実績



海外たばこ事業販売数量実績

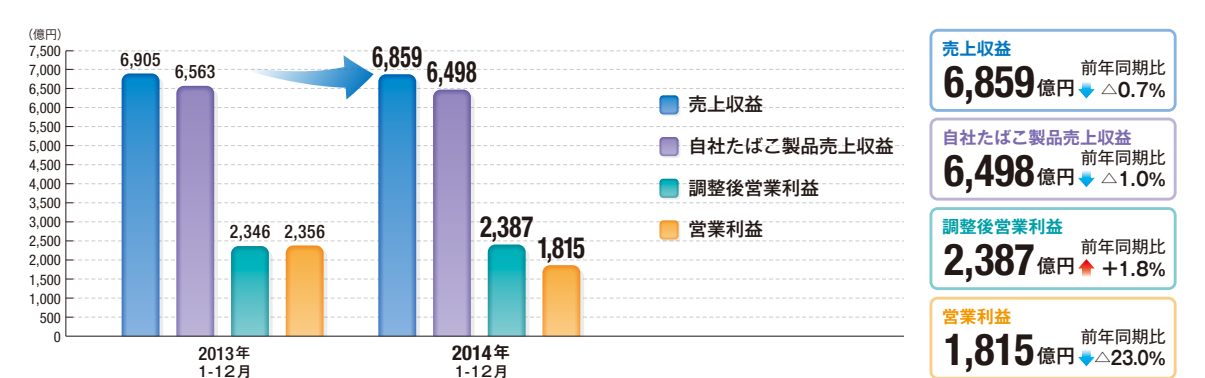


国内 たばこ事業

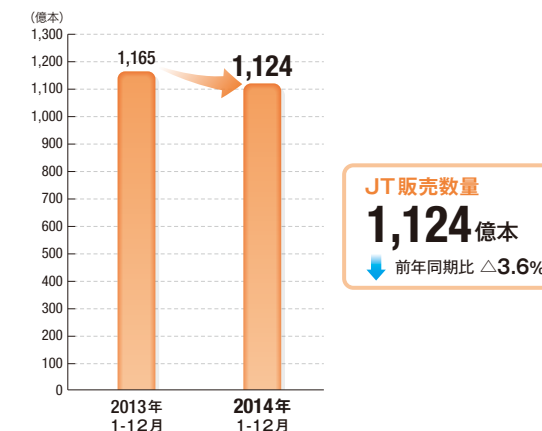
力強いブランド・エクイティによりシェアは堅調

消費税増税の影響により、1-12月期の販売数量は対前年で3.6%の減少となりました。一方、厳しさを増す競争環境の中、お客様の更なるリテンション施策を含めたブランド・エクイティ強化により、MEVIUS (メビウス) を中心とした注カブランドが堅調に推移し、シェアは60.4%と消費税増税以降、着実に伸長しました。

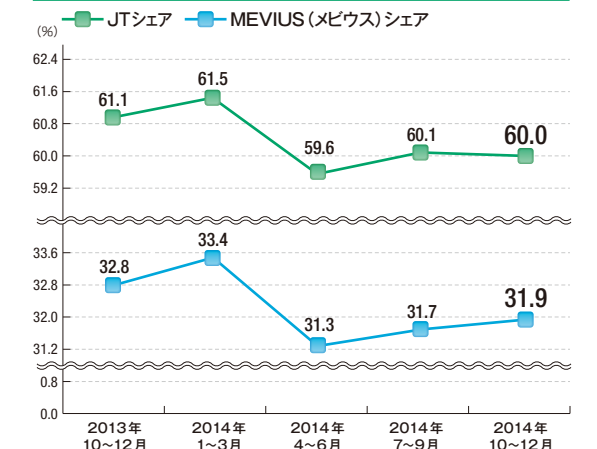
国内たばこ事業実績



JT販売数量実績



四半期別シェア推移



2014年11月にJAK阻害剤「JTE-052」について、レオ・ファーマ社へ日本を除く全世界における皮膚外用剤としての開発・商業化権を導出しました。また、2015年1月には室内粉塵ダニアレルギー疾患を対象とした減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬「TO-203」について、アレルギー性鼻炎を適応症として国内における製造販売承認申請を行いました。1-12月期における売上収益は、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加や鳥居薬品において「リオナ錠250mg（高リン血症治療剤）」「スタリビルド配合剤（抗HIV薬）」等が伸長したことにより、対前年76億円増収の658億円となりました。調整後営業利益については、売上収益の増加、研究開発費の減少等により対前年で63億円改善し、73億円の損失となりました。

❖ 医薬事業 臨床開発品目一覧（2015年2月5日現在）

開発名 （一般名など）	想定する適応症 / 剤形	開発 地域	開発段階					備考
			Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認	
JTK-303 (elvitegravir) / cobicistat/ emtricitabine/ tenofovir alafenamide 配合錠	HIV感染症 / 経口	国内	(申請準備中)					新規配合錠 JTK-303(elvitegravir) は自社品、他3成分は導 入品 (Gilead Sciences 社)
JTT-851	2型糖尿病 / 経口	国内						自社品
JTZ-951	腎性貧血 / 経口	国内						自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外						自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口・外用	国内						自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 / 経口	海外						自社品
JTE-350* (ヒスタミン2塩酸塩)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール / 注射剤	国内	(申請中)					導入品 (ALK 社) 鳥居薬品(株)と共同開発
JTT-251	2型糖尿病 / 経口	海外						自社品
JTT-252	2型糖尿病 / 経口	海外						自社品
JTK-351	HIV感染症 / 経口	国内						自社品

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする
*厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

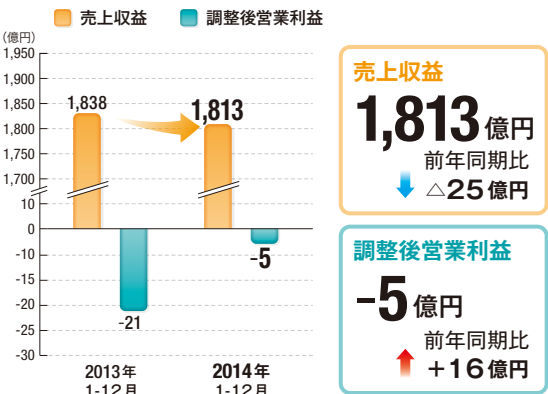
一般名等 （当社開発番号）	導出先	備考
elvitegravir (JTK-303)	Gilead Sciences 社	(適応: HIV 感染症) 新規配合錠 (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide) 米国・欧州申請中
trametinib	GlaxoSmithKline 社	(適応: メラノーマ dabrafenib 併用) Phase3
抗ICOS抗体	MedImmune 社	
JTE-052	LEO Pharma 社	

前回公表時（2014年10月30日）からの変更点
<自社開発品>
・JTK-303(elvitegravir)/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide(E/C/F/TAF) 配合錠: 「申請準備中」へ変更
・JTE-350: 日本国内での製造販売承認申請を実施(2014年12月22日)
<導出品>
・JTK-303(elvitegravir)/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide(E/C/F/TAF) 配合錠: Gilead Sciences 社が米国・欧州で承認申請実施
・JTE-052: LEO Pharma 社へ皮膚外用剤としての日本を除く全世界の独占的開発・商業化権を導出(2014年11月4日)

飲料事業においては、基幹ブランドのルーツや桃の天然水を中心とした積極的な商品投入に努めました。しかしながら、夏場の天候不順の影響および対面販路での競争激化等により売上収益は対前年25億円減収の1,813億円となりました。調整後営業利益は、効率的な経費執行および原材料費の低減等に努めたことにより対前年で16億円の改善となりました。

加工食品事業においては、冷凍麺、冷凍米飯、パックご飯、焼成冷凍パンといったステープルが好調に推移し、売上収益は対前年40億円増収の1,612億円となりました。調整後営業利益は、売上収益の増加により8億円増益となりました。

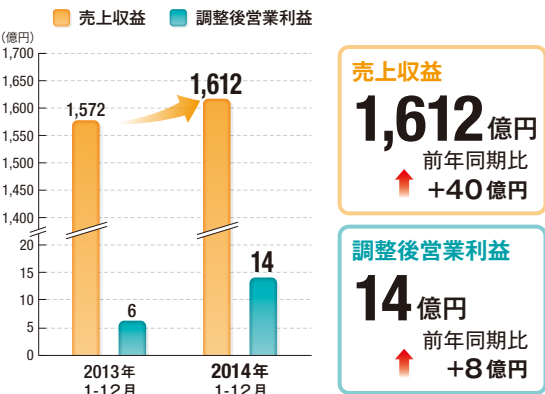
❖ 飲料事業実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、次のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

❖ 加工食品事業実績



- 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産業たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- 国内外の訴訟の動向
- 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- 国内外の経済状況
- 為替変動及び原材料費の変動
- 自然災害及び不測の事態等

連結財務諸表

当社は、決算期を3月31日から12月31日に変更しました。また、決算期が12月31日以外の連結子会社についても、同様の変更を行いました。
したがって、2014年12月期は、当社および海外たばこ事業セグメント以外に属する主な連結子会社は2014年4月1日から2014年12月31日までの9ヶ月決算、
海外たばこ事業セグメントに属する連結子会社は、2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月決算となります。

連結財政状態計算書

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2014年3月31日)	当年度 (2014年12月31日)	増減金額
資産			
流動資産	1,489,713	1,696,874	207,161
非流動資産	3,127,053	3,007,832	△119,221
有形固定資産	779,987	756,127	△23,861
のれん	1,584,432	1,539,376	△45,055
無形資産	385,101	364,912	△20,189
投資不動産	61,421	17,870	△43,551
退職給付に係る資産	16,530	35,402	18,872
持分法で会計処理されている投資	106,107	76,825	△29,282
その他の金融資産	92,596	91,959	△637
繰延税金資産	100,880	125,361	24,482
資産合計	4,616,766	4,704,706	87,940

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2014年3月31日)	当年度 (2014年12月31日)	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,255,834	1,360,098	104,264
非流動負債	764,842	722,106	△42,736
負債合計	2,020,675	2,082,204	61,528
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,505,610	2,536,838	31,228
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△344,463	△344,447	16
その他の資本の構成要素	251,107	142,425	△108,682
利益剰余金	1,762,566	1,902,460	139,894
非支配持分	90,481	85,665	△4,815
資本合計	2,596,091	2,622,503	26,412
負債及び資本合計	4,616,766	4,704,706	87,940

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

※前年度は2013年4月1日～2014年3月31日までの12か月、
当年度は2014年4月1日～2014年12月31日までの9か月となります

point1 のれん

Zandera社買収に伴うのれんが計上されたものの、為替影響により減少しました。

point2 投資不動産

賃貸用物件の売却により減少しました。

point3 流動負債

未払たばこ税が暦日影響により増加しました。

point4 その他の資本の構成要素

為替影響により減少しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	増減金額
売上収益	2,399,841	2,153,970	△245,871
売上原価	△979,975	△886,267	93,708
売上総利益	1,419,866	1,267,703	△152,163
その他の営業収益	55,634	47,651	△7,983
持分法による投資利益	1,702	7,812	6,111
販売費及び一般管理費等	△828,942	△823,410	5,533
営業利益	648,260	499,757	△148,503
金融収益	8,351	13,847	5,496
金融費用	△20,408	△11,304	9,104
税引前当期利益	636,203	502,299	△133,904
法人所得税費用	△200,912	△133,673	67,239
当期利益	435,291	368,626	△66,665
当期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期利益	427,987	362,919	△65,068
非支配持分に帰属する当期利益	7,304	5,708	△1,596
当期利益	435,291	368,626	△66,665

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結包括利益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	増減金額
当期利益	435,291	368,626	△66,665
その他の包括利益	414,970	△123,759	△538,729
当期包括利益	850,261	244,868	△605,393
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	842,867	240,363	△602,504
非支配持分に帰属する当期包括利益	7,394	4,505	△2,889
当期包括利益	850,261	244,868	△605,393

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前年度 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)	当年度 (2014年4月1日～ 2014年12月31日)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,496	543,696	147,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,473	△49,110	114,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,189	△388,859	△243,670
現金及び現金同等物の増減額	87,834	105,727	17,892
現金及び現金同等物の期首残高	142,713	253,219	110,506
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	22,672	26,874	4,203
現金及び現金同等物の当期末残高	253,219	385,820	132,601

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

point5 営業活動によるキャッシュ・フロー

前年度に関連会社(Megapolis)株式の取得があったが当年度は無かったことに加え、たばこ税の支払い月数差(前年度13か月、当年度8か月)により増加しました。

point6 投資活動によるキャッシュ・フロー

当年度の投資不動産売却収入が前年度より多かったことにより増加しました。

point7 財務活動によるキャッシュ・フロー

当年度社債の償還による支出があったことにより減少しました。

JTグループのCSR(企業の社会的責任)の取り組みについて 2014年も社外から高い評価をいただきました

世界120以上の国と地域で製品を販売するJTグループ。「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」という経営理念を掲げ、事業展開地域での社会的課題の解決に取り組んでいます。

お客様のニーズを満たす高品質な商品の開発・製造はもちろん、長期的視点での地球環境保全の取り組み、葉たばこ生産地における児童労働撲滅や森林保全を目的とした各種プログラムの展開のほか、世界各地で地域に根差した社会貢献活動も実施しています。これらの当社独自の取り組みは、社外からも高く評価されています。

JTグループは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、今後も持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めてまいります。

JTグループのCSRの取り組みについてはJTウェブサイトをご覧ください。

JT CSR

<主な社外からの評価(2014年)>

MEMBER OF
Dow Jones Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

DJSI

Dow Jones社とRobecoSAM社が、世界2,500社を対象に企業の持続可能性を評価する、代表的な社会的責任投資(SRI)の株価指標。2014年9月、JTグループはDJSIのアジア・太平洋版であるDJSI Asia Pacific Indexの構成銘柄に初採用されました。

MS-SRI

モーニングスター社会的責任投資株価指数

2003年に日本企業を対象として開発されたSRIの株価指標。東洋経済新報社が国内の上場企業約4,000社へ実施するアンケート調査を基に格付けを決定。JTグループは継続的に構成銘柄に採用されています。

CDP
CLIMATE DISCLOSURE LEADER 2014

CDP

機関投資家が連携し、2000年に発足した国際的NGO団体CDPが、世界5,000社を対象に温室効果ガス排出量に関する実績とその開示状況を評価。2014年10月、JTグループはCDPジャパン500において「気候変動情報開示先進企業」に選定されました。

CSR
TOYOKEIZAI

東洋経済新報社CSR企業ランキング

2007年から東洋経済新報社が毎年発表している、社会から信頼される日本企業を展望するためのランキング。財務データおよびCSRの取り組み内容を評価。2014年3月発表の第8回ランキングでは、JTグループは1,210社中7位でした。



展示スペースの広さは従来の約2倍！ 「たばこと塩の博物館」が4/25にリニューアル・オープン

2013年9月に休館した「たばこと塩の博物館」が渋谷区から墨田区に場所を移し、2015年4月25日(土)、装いも新たにリニューアル・オープンします。

この度のリニューアル・オープンにおいては、これまでの“たばこ”“塩”の常設展示室と特別展示室を約2倍の広さに拡充するとともに、視聴覚ホール、ワークショップルーム、図書閲覧室などの施設機能を充実します。

たばこの常設展示室は、「たばこ文化の発生」「世界のたばこ文化」「江戸のたばこ文化」「近現代のたばこ文化」の4カテゴリで構成され、拡大した展示スペースに、日本や世界の喫煙具、美術工芸品などをこれまで以上に数多く展示します。また、たばこ文化の起源といえるマヤ文明の遺跡、メキシコのパレンケ遺跡「十字の神殿」の一部と、そこに刻まれたたばこを吸う神のレリーフを現地の職人の手により再現した実物大模型など、迫力のある展示を行います。

また、塩の常設展示室は、「世界の塩資源」「日本の塩づくり」「塩のサイエンス」の3カテゴリで構成され、世界遺産であるポーランドのヴィエリチカ岩塩坑で、坑夫たちに信仰されている「聖キング像」を現地の職人の手により再現製作した岩塩彫刻などを展示します。

たばこと塩に関する資料、そして歴史と文化をしっかりと保存・継承していくことは、当社の社会的責任のひとつであると考えています。これからも、たばこと塩の博物館の事業活動を通じ、広く社会の皆様へ、たばこと塩の歴史と文化の紹介に努めていきます。



新所在地の墨田区は、伝統産業や文化・芸能などに関連した美術館・博物館が点在する魅力的なエリアです

株主優待における、 東日本大震災復興支援への寄付について

2014年9月30日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、延べ2,945名の株主様にお選びいただきました。

その総合計額657万1,000円を1月31日に社会福祉法人 中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2」』を通じて、東日本大震災の復興支援のために活動するNPO法人に寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



社会福祉法人 中央共同募金会とは

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、全国的な視野により活用される寄付金や2以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れおよび調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

「たかたのゆめ」を手軽に食べられる パックご飯を発売中

テーブルマークでは、陸前高田市(岩手県)のオリジナルブランド米「たかたのゆめ」を使用したパックご飯を発売しました。

「たかたのゆめ」はJT植物イノベーションセンターが品種を開発し、東日本大震災の長期の復興支援を目的としてJTが陸前高田市に寄贈したことをきっかけに誕生したお米です。粘り気があり、もっちりとした食感とほのかな甘みが特長で、炊きたてはもちろん、冷めてもおいしいと好評の今注目の品種です。

この陸前高田の復興への想いが詰まった「たかたのゆめ」を、より多くの方々にご賞味いただきたいとの想いから、このたび、パックご飯『陸前高田のおいしいお米 たかたのゆめ』を発売しました。岩手県内の地域スーパー「マイヤ」様にて販売中です。



150g×2食入。昨年は天候に恵まれ、品質のよいお米が収穫されました

「たかたのゆめ」(精米)の購入はこちらから。
<http://store.shopping.yahoo.co.jp/gei-iwatemeisan/>

スッキリと香る“新・香りチェンジカプセル”搭載

「メビウス・プレミアムメンソール・オプション・イエロー」新登場!

価格:各430円(20本入)

新発売

MEVIUS

メビウス・プレミアムメンソール・オプション・イエロー・8
タール値:8mg/ニコチン値:0.7mg

メビウス・プレミアムメンソール・オプション・イエロー・5
タール値:5mg/ニコチン値:0.5mg

メビウス・プレミアムメンソール・オプション・イエロー・ワン・100's
タール値:1mg/ニコチン値:0.1mg

フィルター部分に“香りチェンジカプセル”を搭載した「メビウス・プレミアムメンソール・オプション」シリーズのニューバリエーションとして、「メビウス・プレミアムメンソール・オプション・イエロー・8/5/ワン・100's」の3銘柄を全国で発売しています。

フィルター部分に搭載したカプセルをつぶす前は、天然メンソールを100%使用したプレミアムメンソールシリーズ共通の透き通る爽快感をお楽しみいただけます。さらに、カプセルをつぶすことで、既存の「オプション」が“華やかな香り”が広がるのに対し、今回の「イエロー」は“スッキリとした香り”が軽やかに広がります。

まだ「オプション」シリーズを知らないお客様、知っていても試したことがないお客様、そして香りにこだわりのあるお客様に向け、強く訴求できる商品に仕上がっています。

担当者コメント

「オプション」シリーズのカプセルは、これまでミント系やブースト系（メンソール感を強める）しかなかったカプセルメンソール市場において、新たに“香り”という軸を打ち出し、支持を獲得。その甲斐もあり、現在、JTは国内メンソール市場において2位の地位を確立しています。

この成長の勢いをさらに加速させるために、自信を持ってお届けするのが今回の新商品です。

今後も、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、新たな価値・満足を提供してまいります。

JT たばこ事業本部
マーケティング&セールスグループ
マーケティング戦略部
森 一広



新発売



和のごはん ふっくら赤飯おにぎり

3個入/270g

- ▶ 国産もち米と大納言小豆を使用してふっくらと炊きあげました
- ▶ ご好評の個包装を採用
内袋のままレンジでチンできます

担当者コメント

セイロの蒸し方を忠実に再現した製法で蒸し上げ、ふっくらとやわらかく仕上げた赤飯のおにぎりです。ごま塩をトッピングすることで味のアクセントを付けました。冷めてもやわらかく、美味しくいただけます。個包装ですので、小腹が空いた時など色々なシーンでお楽しみください。

テーブルマーク(株) 商品開発センター
小松 稔弘



新発売



- ▶ カキ独特の風味と深いコクのあるオイスターソースを使用
- ▶ もちもちした太めの平打ち麺がオイスターソースの味いにマッチ

青椒肉絲麺

1食入/264g

新発売



- ▶ 太めでたべごたえのあるノンフライ麺に香味野菜の風味がきいた味噌だれがよく絡みます
- ▶ 甜面醤のコクとラー油の辛味がクセになります

ホームラン軒 ジャージャー麺



着実な値上げとバランスのとれたブランド・ポートフォリオの
拡充により、力強い利益成長を達成



プレゼンテーションを行うトーマス・A・マッコイ JTI社長兼CEO

■プレゼンテーションは、JTのホームページでご覧になれます。
<http://www.jti.co.jp/investors/release/index.html>

2015年2月6日、ホテルオークラ「アスコットホール」において、「2014年度決算説明会」を開催し、その中で、JTインターナショナルのトーマス・A・マッコイ（Thomas A. McCoy：社長兼CEO）が、JTIの2014年実績および2015年業績予想について説明をいたしました。
プレゼンテーションの要約は以下の通りです。

2014年(1-12月) 実績

JTインターナショナル（以下、JTI）は、2014年も引き続き力強い利益成長を達成いたしました。

総需要が減少する中、総販売数量は減少しましたが、我々のグローバル・フラッグシップ・ブランド（以下、GFB）は、ブランドの力強さおよび底堅さが貢献し、販売数量は前年並みに推移しました。

GFBシェアは、2014年もブランドへの投資を継続的に強化させたことにより、多くの市場においての目覚ましい成長を果たした結果、0.5%ポイント伸長し、14.3%となりました。

販売数量が減少する中、為替一定ベースの自社た

ばこ製品売上収益および調整後営業利益は、それぞれ3.5%、13.1%の成長となりました。我々の強靱なブランド・ポートフォリオに加え、複数の市場でNo.1の地位を有していることが、着実な値上げの実施へと繋がり、今回の力強い財務実績のキードライバーとなりました。

事業基盤についても、引き続き拡大を遂げました。E-Litesの獲得とともに、新たな分野への参入を果たし、製品ポートフォリオの拡充を実現しました。

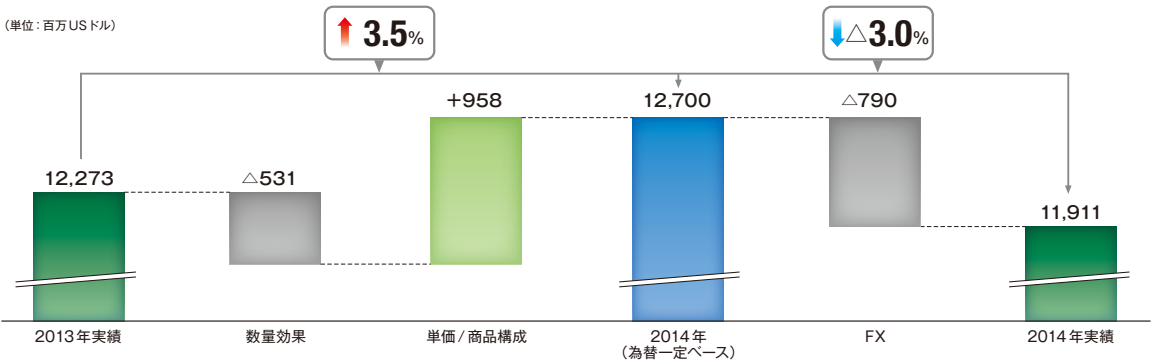
2015年も引き続き厳しい事業環境が継続するものと想定しておりますが、引き続きブランド・エクイティ

の強化と地理的拡大を進めていくことで、シェア伸長モメンタムを維持してまいります。また、短期的利益の追求だけでなく、中長期に亘り持続的成長を継続させていくための事業投資、特にE-Litesを含む Emerging Products 分野への投資を強化していくことにより、今後もJTグループの利益成長の牽引役としての役割を果たし続けてまいります。

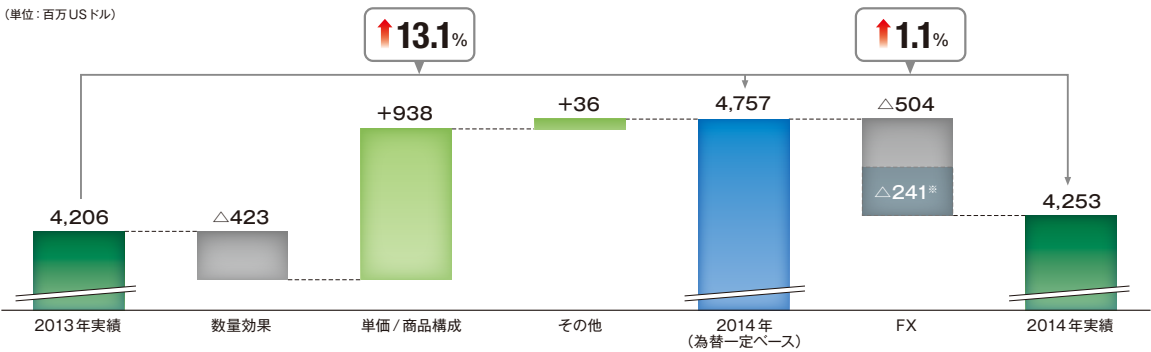
■主要市場のシェア（紙巻たばこ、手巻きたばこ）

	2014年	前年比
フランス	20.8%	+0.8%pt
イタリア	19.9%	△1.8%pt
ロシア	34.9%	△1.4%pt
スペイン	21.7%	+0.7%pt
台湾	38.4%	△1.0%pt
トルコ	29.0%	+2.4%pt
U K	41.3%	+0.5%pt

■自社たばこ製品売上収益



■調整後営業利益



※2014年10-12月期FX影響分



事業基盤の更なる拡大へ

新市場や新カテゴリへの投資を継続していくことは、将来の利益成長のために非常に重要であると考えております。

我々は過去数年に亘り、成長の余地が大きいと判断した市場への投資を進めてまいりました。その結果、複数の新興市場で既存の市場のプレゼンスをより強固にし、大きな利益成長を達成いたしました。しかしながら、更なる成長の余地はあるものと考えており、その機会を追求することは、中長期に亘り持続的な利益成長を実現する

上で重要であると考えております。

2014年にはエジプト、ミャンマー、ブラジルを含む複数市場への新規参入を果たしました。また、UKのZandera社の買収を通じて、E-cigarette分野での事業基盤の拡大を図りました。

2015年はこれまでも行ってきたEmerging Productsへの取り組みを加速させる年であると考えております。

引き続き、地理的拡大、製品ポートフォリオの拡充の機会を追求してまいります。

プロダクト・ポートフォリオ拡充



ブランド紹介

GFBの中でも主力である「ウィンストン」「キャメル」「LD」「MEVIUS (メビウス)」のシェア動向を紹介します。

ウィンストン

ウィンストンはグローバルNo.2ブランドとしての地位をより強固なものにしました。No.1シェアを誇るロシアをはじめとした27市場において過去最高のシェアを達成しました。

市場シェア	2014年	前年比
ウィンストン	9.6%	■+0.4 %pt
ロシア	15.0%	■+0.7 %pt
アゼルバイジャン	8.1%	■+1.0 %pt
ドイツ	2.4%	■+0.5 %pt
スウェーデン	5.3%	■+1.5 %pt
スイス	8.9%	■+0.6 %pt
台湾	4.8%	■+1.2 %pt

キャメル

我々のブランドの中で2番目に大きな販売数量を誇り、現在世界85か国以上で販売されています。チェコ、オランダ、トルコにおいて過去最高のシェアを達成しました。

市場シェア	2014年	前年比
キャメル	3.6%	■+0.5 %pt
チェコ	4.3%	■+0.5 %pt
オランダ	8.4%	■+0.7 %pt
トルコ	7.9%	■+6.0 %pt

LD

LDはミッドプライスおよびバリュー価格帯での競争激化の中、引き続きシェアを伸長させました。2014年には、ラトビア、サウジアラビア、タンザニアにて販売を開始し、地理的拡大を遂げました。

市場シェア	2014年	前年比
LD	5.9%	■+0.4 %pt
ウクライナ	5.2%	■+1.6 %pt
ハンガリー	8.7%	■+1.7 %pt
カザフスタン	12.7%	■+2.3 %pt

MEVIUS(メビウス)

2013年にMild Sevenからの名称変更は成功裏に終了しました。現在アジアを中心に発売されており、2014年はカンボジア、マレーシア、台湾およびベトナムといった数々のアジア市場でのプレミアム価格帯内のシェアが伸長しました。

セグメントシェア	2014年	前年比
メビウス	21.8%	■+0.4 %pt
ベトナム	1.6%	■+0.1 %pt
マレーシア	6.5%	■+0.5 %pt
台湾	58.3%	■+1.2 %pt



第51回ゴルフ日本 シリーズJTカップ



選ばれし30名が、名誉と栄光をかけて激突!

男子ゴルフツアー最終戦「第51回ゴルフ日本シリーズJTカップ」が、東京よみうりカントリークラブで12月4～7日までの4日間開催されました。今季は前年度優勝者やツアー優勝者に加え、「オフィシャル・ワールド・ゴルフランキング」を出場資格に採用。世界へと活躍の場を拡げるジャパンゴルフツアーメンバーを迎え、まさに今季の最優秀選手を決定するにふさわしい大会に進化しました。



優勝した宮本選手(前列中央)を囲み、参加した全選手と記念写真。宮本選手は「今日の72ホール、自分のゴルフが100点満点」と話していました



優勝を果たしたのは、4年ぶりの出場となった宮本勝昌選手。第38回大会以来となる、13年ぶり3度目の優勝を飾りました。

初日は、トップと4打差の5位タイにつけ、好発進。続く2日目は3つのバーディを取り、宮里優作選手と李尚熹選手とともに1位タイにつけます。3日目は3つのボギーが響き、トップと3打差で6位タイに後退したものの、8組目でスタートした最終日に大躍進。「明日はビッグスコアを出さなきゃ」と臨んだ最終日、有言実行となる6つのバーディを取り、5アンダーをマークして、見事3度目となる栄冠を手に入れました。

宮本選手は、「これで僕も3回目の優勝になるのですが、藤田プロが3連覇で同じく3回優勝をしているので、藤田プロと一緒に4回目を目指して来年以降も頑張りたいです」と、連覇に向けての想いを語りました。



宮本選手には、JTカップと優勝賞金4,000万円、チャンピオンブレザーなどが贈呈されました

今年も大人気!

JT プラザ



今年もJTプラザでは、素敵な商品が当たるアトラクションやJTのコーヒブランド「Roots」のプロモーションをはじめ、JTグループの各事業の商品を来場された方に紹介するなど、さまざまなコーナーをご用意。大会期間中、多くのお客さまにお立ち寄りいただき大盛況でした。



ルーツクイズラリー
ラリーカードを受け取り、「ルーツ」に関わるクイズに挑戦! JTプラザ内のパネルや看板の中にある答えを探して回答し、全問正解された方には、景品が当たるゴルフゲームに挑戦していただきました!



JTショップ
JTショップでは「ルーツ」をはじめとするJT飲料の人気シリーズがラインナップ! この季節にぴったりの、ホットドリンクもご用意し、多くのお客さまにご購入いただきました



テーブルマーク社商品の試食
JTプラザ内で、JTのグループ会社であるテーブルマークの人気商品「ベーカースelect」より、「メロンパン」と「チョコクロワッサン」の試食サービスを行いました!

おつつがゆ

山萩神社の「御筒粥の儀」 [千葉県]



人々の手によって受け継がれてきた 神事の中の「葉たばこ生産」

千葉県館山市山萩にある山萩神社では、毎年旧暦の1月15日にあたる2月26日に「御筒粥の儀」という神事が行われています。これは日本全国の神社で行われている「粥占^{かゆうら}」の一つであり、その土地によって様式は異なるものの、農作物の豊凶を占う民俗行事です。山萩神社の「御筒粥の儀」では、米や麦など18種類の農作物に世相を加えた19種類が占われており、この中の一つに“たばこ”が含まれています。

「御筒粥の儀」で行われる粥占の方法は、占いの対象となる19種類分の葦筒^{よし}を粥とともに釜の中で炊きます。その後、筒の

中に入り込んだ粥の量で「六^ぶ」から「九^く」までの4段階に分けて、各農作物等の豊凶を占います。この神事は山萩地区の氏子一同によって大切に受け継がれ、館山市の無形民俗文化財にも指定されています。

館山市は江戸期からたばこ耕作が行われた産地の一つでした。昭和6（1931）年にシガレットの主原料となる「黄色種」の栽培が千葉県内で初めて行われた場所でもあります。現在同地でたばこ耕作は行われていませんが、今もお神事の中には、かつての葉たばこ生産の面影が残されているのです。



館山市内の小高い丘の上に建つ山萩神社。地元の氏子たちと宮司の手によって、神事は執り行われます



結果は木版で刷られた紙に記され、氏子一同に手渡されます。今年の結果は、たばこは八、世の中は九でした



神事に奉納する神楽

千葉県の最南端にある館山市は、JR東京駅から特急でおよそ2時間。夏の海水浴客で賑わう海のイメージが強いですが、山にも囲まれた自然豊かな場所です。また冬場でも比較的暖かく、一面に広がる菜の花やポピーといった花畑の散策を目的とした観光客も訪れます。また、海の幸・山の幸が豊富に揃い、千葉県を代表する観光地の1つです。

町の歴史はとても古く、平安時代以降、豪族や戦国大名が居館や城を築きました。この中でも有名なのが『南総里見八犬伝』のモデルとなった大名の里見氏が建設した城下町で、現在の館山市のベースとなっています。

■ 山萩神社

所在地 / 〒294-0021 千葉県館山市山萩334
アクセス / JR館山駅から車で約20分



山萩神社



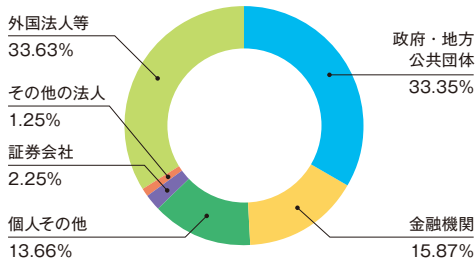
会社概要

商 号	日本たばこ産業株式会社	設 立	1985年(昭和60年) 4月1日
本社所在地	〒105-8422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル	資 本 金	1,000億円
	TEL.(03) 3582-3111(代表) FAX.(03) 5572-1441		

株式の状況

2014年12月31日現在

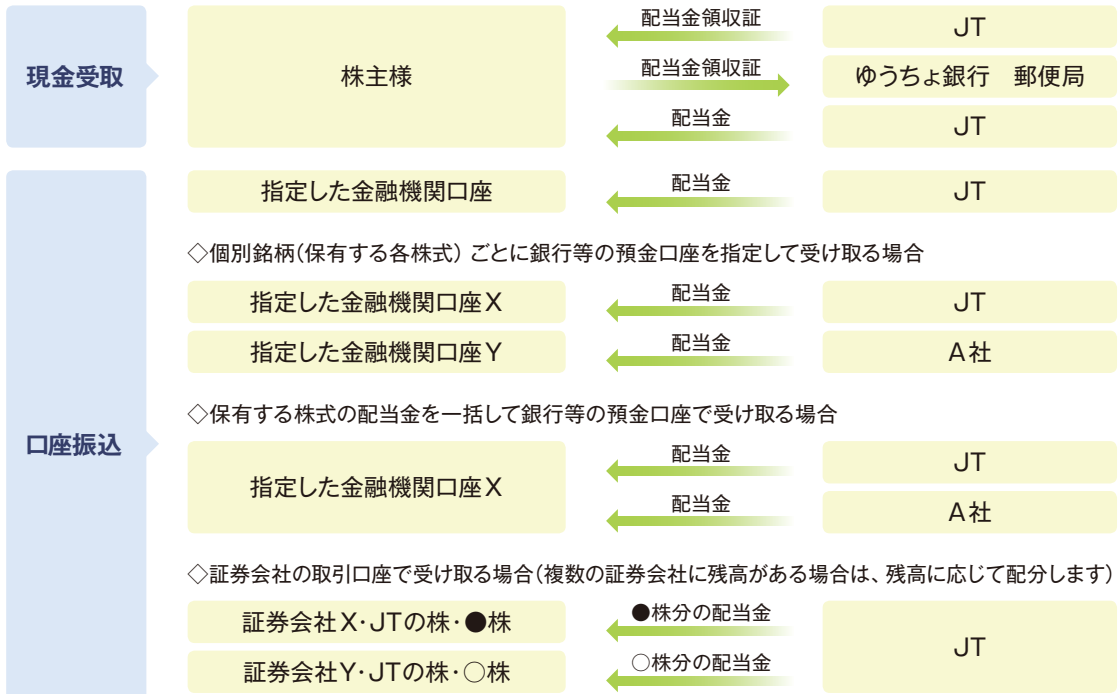
所有者別構成比



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 182,443,388株)	2,000,000,000株
株主数	147,546名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。



※特別口座をご利用の株主様はご利用できません

役員

取締役

取締役会長	丹呉 泰健
代表取締役社長	小泉 光臣
代表取締役副社長	新貝 康司
代表取締役副社長	大久保憲朗
代表取締役副社長	佐伯 明
取締役副社長	宮崎 秀樹
取締役	岡 素之
取締役	幸田 真音

監査役

常勤監査役	中村 太
常勤監査役	湖島 知高
監査役	今井 義典
監査役	大林 宏

執行役員

社長	小泉 光臣
副社長	(コンプライアンス・企画・人事・総務・法務・監査担当) 新貝 康司
副社長	(医薬事業・飲料事業・加工食品事業担当) 大久保憲朗
副社長	(たばこ事業本部長) 佐伯 明
副社長	(CSR・財務・コミュニケーション担当) 宮崎 秀樹
専務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 飯島 謙二
専務執行役員	(コンプライアンス担当・総務責任者) 千々岩良二
専務執行役員	(企画責任者) 岩井 睦雄
常務執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長) 山下 和人
執行役員	(たばこ事業本部 渉外責任者) 福地 淳一
執行役員	(たばこ事業本部 R&D 責任者) 米田 靖之
執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長) 佐藤 雅彦
執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長) 廣渡 清栄
執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長) 長谷川 靖
執行役員	(医薬事業部長) 藤本 宗明
執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長) 大川 滋紀
執行役員	(飲料事業部長) 松田 剛一
執行役員	(CSR担当) 永田 亮子
執行役員	(企画副責任者) 筒井 岳彦
執行役員	(人事責任者) 佐々木治道
執行役員	(財務責任者) 見浪 直博
執行役員	(コミュニケーション責任者) 前田 勇氣
執行役員	(法務責任者) 山田 晴彦

株価の推移

1994年10月27日上場～2015年2月 当社株価(東証終値、月間)



※2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています